

市民病院

もともと耳寄り情報



市民病院
☎ 66・2200

顎関節症ってご存知ですか？

顎関節は、どこにあるかご存知ですか？耳の穴の前に指をあてると、グリグリと触れるのが顎関節です。

顎関節症は、物をかんだり口の閉鎖時に咀嚼筋に痛みや違和感がある咀嚼筋群の機能障害と、口を十分に大きく開けられない、口の閉鎖時に顎関節に音がするという症状のある疾患です。

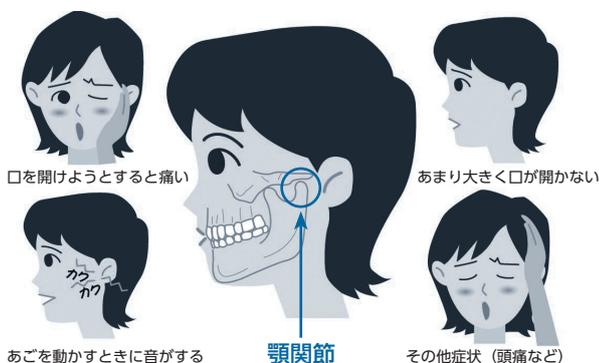
診断には、顎関節の確認のためのX線撮影や、顎関節症と同じような症状を示す疾患もあるため、必要によりCTやMRI検査を行う場合があります。MRI検査は関節円板(顎が動く時にクッションの役目をするもの)のずれを明確に診断することに対して有用です。

治療法には、消炎鎮痛剤や筋弛緩薬により顎関節の痛みを緩和する薬物療法、歯にカバーをするスプリントを装着して噛み合わせを調整し顎関節の安静を図るスプリント治療、難治症例には関節を開放したり内視鏡を用いて手術をする場合もあります。ほとんどの場

合は、薬物療法とスプリント治療で改善します。

うつぶせ寝、頬づえ、片方で食べ物をかむ癖、極端に硬いものばかり食べているなどの習慣をやめることも大切です。

顎が痛い、口が開かない、カクカク音がして痛い、このような症状がある方は歯科口腔外科を受診してください。重症になる前に早期の治療をおすすめします。



市民病院公開講座を開催します！

地域医療において自治体病院が果たすべき役割はどんなものなのか。地域包括ケアシステムの目指すべき方向性についてのお話です。

テーマ

「生命(いのち)輝かそう蒲郡市民」
～惑星直列の大変革を乗り越えて～

とき 3月28日(水)
午後3時30分～5時

ところ 市民会館東ホール

講師 公益社団法人
全国自治体病院協議会
会長 邊見公雄



※ 申し込み不要、参加費無料。



医療機関の使い分け

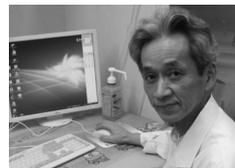
かかりつけ医を持ちましょう

先生に聞いてみた!



インタビューバトン

第12回 歯科口腔外科 部長 竹本 隆



Q 先生のご出身は？ A 大阪市です。

Q 市民病院歯科口腔外科の特色は？

A 患者さんの約半数は、近隣歯科医院からの紹介です。なかでも、親知らずの抜歯が最も多いですが、口腔がんまで対応しています。

Q 親知らずはなぜ痛くなるのですか？

A 最も後方に生えてくる親知らずは、完全に生えず、歯肉が歯冠を部分的に覆ったままとなるため、不潔で、歯肉に炎症を起こすため痛くなります。

Q 親知らずは抜いたほうがいいですか？

A 通常は抜かなくてもいいですが、傾斜している親知らずは虫歯になったりしばしば炎症を起こすため、このような症状が出た場合は抜歯の対象となります。

Q 親知らずを抜くにはどれくらいの期間がかかりますか？

A 親知らずの抜歯は、通常の抜歯とは違い、多くは歯肉切開などが必要です。人によっては抜歯後に腫れが出たり、口が開きにくくなったりすることがあります。約1週間後には、痛みや腫れは軽減していることがほとんどです。

Q 患者さんや地域の方々にひとこと

A 口の中は、歯以外に頬粘膜や舌などもあります。また、虫歯以外にも良性から悪性まで色々な病気があります。気になることがある方は、ご相談ください。

次回は麻酔科の先生です